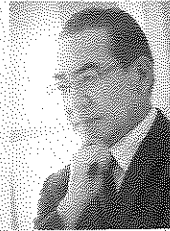


～昨日の風 明日の風～
**経営コンサルタント
 独白録**

[第153回] だから私は！しかし私は！（その2）



戸敷 進一

1956年生まれ、宮崎県出身の経営コンサルタントで、㈱経営改善支援センター（福岡市、URL <https://sien.co.jp/>）代表取締役。業種を問わない「組織活性化」の専門家で、全国300社以上の企業の活性化を指導。全国の商工会議所や企業などからの依頼で講演活動もおこなう。明確で分かりやすい表現で驚くほど短期間で「組織」を変えるのが強み。また、帝国データバンクの契約コンサルタントとして九州各地の企業を中心に多くの実績を上げている。

若い経営者への言葉

先日、若い経営者たちが集まった私的なセミナーで、前号（第152回）のような話をしました。その締めくくりとして、私は次のように語りました。

「18世紀末のフランス革命、産業革命以来続いてきた従来型の自由主義・資本主義は終わりを迎え、19世紀に生まれた社会主義・共産主義もまた終わりつつあります。

テレビや新聞が煽る右翼・左翼といった安直な構図では、もはや世界は読み解けません。社会はイデオロギーだけでは動かないのです。

あえて踏み込んで言えば、これからは独裁、宗教、ナショナリズム、そして技術革新が前面に出てきます。その中で、自分が率いる組織の【在り方】を、今から真剣に考えておかなければ、10年後、20年後に組織は消えているかもしれない。

政治が悪い、業界が悪い、時代が悪い——そう言い訳をしている暇はありません。若いあなた方は、自分たちの力で道を切り開かなければならないのです」。

新たな企業文化

私的なセミナーだったこともあり、かなり踏み込んだ話をしました。セミナー終了後の懇親会で、ある若い女性経営者が声をかけてきました。

「先ほどおっしゃっていた“ナショナリズム”的というのは、企業文化のことでしょうか。自分た

ちで新しい文化を育て、それを追求しなさい、という意味だったのでしょうか？」

思わず嬉しくなりました。まさにその通りです。これからの時代は、自分たち自身で新たな企業文化を創り上げていくことが何より重要になります。新しい世界秩序やAIの時代において、従来の経験や体験だけに基づいた思考は、もはや十分に機能しません。

「**ネオフィリア (Neophilia) **という言葉があります。新しいものや変化に対して強い好奇心を持ち、積極的に受け入れようとする姿勢のことです。いわば“新しもの好き”を指す言葉ですが、人類進化の原動力ともいわれています。それは、若者の特権です。

そして、あなた方は組織に向かって高らかに叫ばなければなりません。

『だから私は（私たちの組織は）！』

『しかし私は（私たちの組織は）！』

と……』。

話しているうちに再び若い人たちが周りに集まり、懇親会はいつの間にかミニセミナーになっていました。若い経営者たちの意欲と感性に触れた、実に貴重な夜でした。

（おわり）